

事業所名

児童発達支援事業 たんぽぽ

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

10日

法人（事業所）理念		心ゆたかな 元気なこどもの育成を目指す。 インクルーシブ教育の中で丁寧なこどもを育成する。					
支援方針		ゆっくり こつこつ ていねいに 発達段階や発達状態に応じたステップで分かりやすい手だてで発達支援にあたります。 *こども園の友だちや先生と過ごす教育・保育時間を大切にしながら、クラス担任と連携をとりながら、丁寧な支援を行います。					
営業時間		9 時	0 分から	15 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	こども園の生活の流れを大切にしながら、それぞれのこどもに合った活動を提供します。 ・健康状態の把握 ・情緒の安定を図る ・日常生活動作の獲得					
	運動・感覚	運動遊び（身体をたくさん動かして遊ぶ） ・園庭での外遊び（遊具、スクーター、鉄棒、雲梯など）・室内でのサーキットやマット遊び 感覚遊び（視覚・聴覚・触覚などの感覚を働かせて遊ぶ） ・砂場、粘土遊び、お絵描き、新聞紙遊びなど					
	認知・行動	ひとり一人の認知の特性を理解し、それぞれのこどもに合った支援を行います。特性による行動やコミュニケーションの難しさに寄り添い、適切な行動を促します。 ・こども園の活動に参加し季節を感じる ・様々な活動の中で、色・形・大きさ・重さ・数などを知る					
	言語 コミュニケーション	人とのやり取りの中で、自分も周りの人も大切にコミュニケーションの方法を学びます。 ・こども園での遊びや様々な活動を通して多くの言葉に触れる ・好きなあそびの中で先生や友だちとのやり取りを楽しむ					
	人間関係 社会性	集団活動に参加できるよう、それぞれの参加の仕方を認めながら、クラス活動や園行事に参加できるように支援します。 ・小集団の中で先生や友だちを意識しながら同じ空間で過ごしたり、遊んだりする ・楽しさを共有して仲良くなる（ふれあいあそび、ごっこあそびなど） ・約束やルールを知る、守る（簡単なルールのある遊び、順番を待つ、順番を守るなど）					
家族支援		・送迎時や連絡帳にて子どもの様子の共通理解や情報共有を行います。 ・保護者と一緒にこどもの特性を理解し、家庭で取り組みやすい支援を提案します。（子育ての不安や悩みを解消できるよう面談を行います）			移行支援	・富士見が丘こども園と日々連携し情報共有を行い、共通理解をしています。 ・就学先、放課後等デイサービスとの連携、情報共有を行います。	
地域支援・地域連携		・こどもに関わる地域の関係機関との情報共有や連携を図ります。また、必要に応じて会議の開催を行います。 ・相談支援事業所との情報共有を行います。			職員の質の向上	・こども園での研修に参加し教育、保育の知識の習得に努めます。 ・外部の研修に参加し、自己研鑽を図るとともに、支援の質の向上に努めます。	
主な行事等		こども園の行事に参加する。（入園式・七夕コンサート・見学遠足・運動会・発表会・園外保育など）					